

わがまちの 「ちよつといい話」

NO. 65

「道徳のまち笠松」推進会議
(笠松町教育文化課)

十月二十一日(日)、秋空のもと、笠松みなと公園でリバーサイドカーニバルが開催された。今年、ふれ合いコーナーの一角に初めて「道徳のまち笠松」が出店した。八月下旬、出店申し込み期限の近づいたある日、道徳のまちづくりのひととして出店する話が舞い込み、取り急ぎ役員会で参加を決め申し込んだのである。

◇ ◇ ◇
九月に出店内容について相談した。準備作業を進める中で、活動紹介の展示、チョボラ(ちよこつとポラ)の募集、かんバッジ作り、あいさつゲームなどの出店時の活動内容が決まっていた。カーニバルの当日、店内では活動紹介展示とかんバ



れ、ハンドルを押す。台を回転させてもう一度押せばできあがり。思わず、「できたと歓声があがり、「ありがとう」の声。人とのつながりが一気に深まる。

◇ ◇ ◇
展示を見ていただいた方、チョボラ

ッジ作りなどの準備。店外では「道徳のまち」ポイ捨てしますか・・・のオレンジ色のぼり六本や看板立てなど開店に備えた。

◇ ◇ ◇
あいさつゲームでは、指定されたお店をたずねてあいさつし、文字シールをもらって組み合わせ、「こんにちは」などのあいさつ言葉を見つける。缶バッジ作りでは、バッジ用「道徳のまち」イラストから好みのものを選ぶ。それを缶バッジの部品と一緒に制作マシンに入

の紹介をした方、アンケート調査(二十名ほど)に答えていただいた方にも缶バッジを渡した。

この日、五時間余りで作ったかんバッジは約四五〇個。二分で三個作ったことになる。持ち帰ったバッジを愛用いただき、道徳のまちづくりに対する関心を高め、人とのつながる心、自ら取り組む心、他人を思いやる心の三つの心を時折、思い起こして大切にしていただければと願っている。



リバーサイドカーニバルに出店
かんバッジづくり